

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学実習 I		実習	坂東 恵美子・安村 明子・小林 正明	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 ( 1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
四肢、体幹の運動器系の基礎知識の修得を目的とする。 目標基礎知識の範囲は、①骨とその連絡する靭帯の名称と機能 ②筋の名称と機能 ③神経の名称と機能、支配領域 ④主要な血管の名称と機能 ⑤各関節の運動方向と筋、神経の作用 である。				
授業の到達目標				
①骨の構造や骨格全体の成り立ちを把握し、個々の骨の名称や部位名を正確に列挙する。②関節の構造と機能を総論的に学び、骨を連結する靭帯について正確に列挙する。③人体の主要な骨格筋の構造(起始・停止・走行・神経支配など)を知り、その作用を説明することができる。④脊髄神経の名称と機能、支配領域を列挙する。⑤人体の主要な血管の名称と機能を列挙する。				
授業計画				
回	内容			
1	総論 1 骨・関節学総論			
2	総論 2 筋・神経・血管学総論			
3	各論 上肢(担当:安村)	1) 骨		
4	各論 上肢(担当:安村)	2) 関節		
5	各論 上肢(担当:安村)	3) 筋		
6	各論 上肢(担当:安村)	4) 神経・脈管		
7	各論 下肢(担当:小林)	1) 骨		
8	各論 下肢(担当:小林)	2) 関節		
9	各論 下肢(担当:小林)	3) 筋		
10	各論 下肢(担当:小林)	4) 神経・脈管		
11	各論 体幹(担当:坂東)	1) 骨		
12	各論 体幹(担当:坂東)	2) 関節		
13	各論 体幹(担当:坂東)	3) 筋		
14	各論 体幹(担当:坂東)	4) 神経・脈管		
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト		1分野終了ごとに確認テストを行い、合格者は定期試験免除とする。		
平常点				
その他				
自由記載	開講時により詳細に説明する。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部	坂井健雄・大谷修 監修		医学書院	
プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系	坂井健雄・松村譲児 監修		医学書院	
プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖	坂井健雄・河田光博 監修		医学書院	
運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 / 同 下肢・体幹	林典雄 著		メジカルビュー社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
各論では3分野をグループでローテーションしていく。各分野の学習内容に対し、口頭試験を各分野学習期間中に行う。				